

2013年3月

歴史 No. 6

# けんぱくものしりシート

## なん ぶ てつ びん 南 部 鉄 瓶



つる

ふた

つぎ口



うらめん  
裏面

うまの ず てつびん  
馬 図 鉄 瓶

さくしゃ すずき もりひさ だい  
作者 鈴木盛久 (12代)

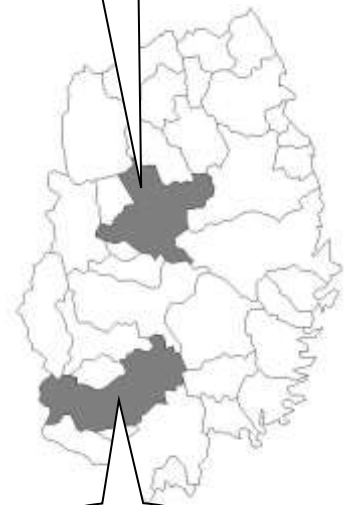
めいじ じ だい  
明治時代

いわてけん むかし てつ  
岩手県では昔からたくさんとれる鉄をとかしている  
いろなものを作ってきました。

とくさんひん ひと なんぶ てつき もりおかし おうしゅうし つく  
特産品の一つである南部鉄器は、盛岡市と奥州市で作  
られています。その代表的な物が「鉄瓶」で、やかん  
のようにお湯を沸かす道具です。

しゃしん うまの ず てつびん めいじ じ だい ねん ねん つく  
写真の馬図鉄瓶は、明治時代(1868年~1912年)に作  
られたものです。馬図鉄瓶をもっとよく見てみましょ  
う。鉄瓶は、お湯を注ぐ口を右に向けると正面になり  
ます。馬が3頭いますね。その裏面には馬がおしりを向け  
ています。

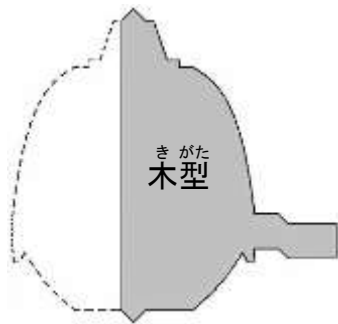
もりおかし  
盛岡市



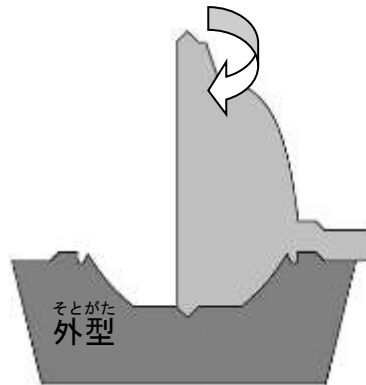
おうしゅうし  
奥州市

このような鉄瓶はどのようにして作られているのでしょうか。

① 作りたいた鉄瓶の形をもとに、鉄瓶の断面を半分にした大きさの型「木型」を木の板や鉄板で作ります。



② 木型を回転させて外側になる型「外型」を粘土と砂で作ります。



③ 鉄瓶の中を空洞にするために、外型よりも小さい型「中子」を作り、外型と合わせます。つぎ口は別に作り、外型の中に埋め込みます。



④ 外型と中子のすきまにドロドロにとけた鉄を流し込み、冷えて固まったら型からはずします。



底の方からとけた鉄を流し込む

⑤ 表面をきれいにして着色し、つるとふたを付けたらできあがりです。

模様は鉄を流し込む前に、外型に「へら」という道具でつけます。へらを土に押しつけて、土を少しへこませて模様をつけています。



参考

へら

個人蔵

参考にした本 『美術鑄物の手法』 アグネ 1983年

来月(4月)の  
けんぱくものしりシートは  
民俗-6だよ!  
おたのしみに!



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/